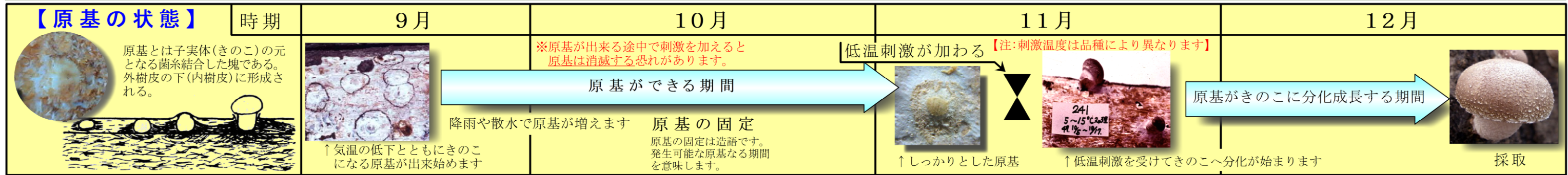


原基作りと菌興品種(年内の)発生操作について(令和5年版)

【令和5年版の特徴】
7～8月において降雨が多かったこと気温が高かったことを考慮しての管理手順となっています。



【9～12月ほだ木管理作業】原基作り・ほだ降し・発生操作

品 種 系 統	作 業	時 期	9 月		10 月			11 月			12 月		
			中 旬	下 旬	上 旬	中 旬	下 旬	上 旬	中 旬	下 旬	上 旬	中 旬	下 旬
240号 301号 327号 中温 中低温	1才 ほだ木管理 ほだ降ろし 発生操作	ほだ降ろし 禁 止 期 間	 移動・刺激禁止期間			【ほだ降ろし】	ポイントとなる温度(最低気温) 327～14℃ 301～12℃ 240～10℃を確認						
	新ほだ木について、原基作りの散水はありません。 1年降しをした場合は古ほだ木に準じて原基作り散水を行って下さい。					【即散水】 24h	【収穫】 収穫	【収穫後散水】 8h 8h 8h	【成長散水】 3h 3h 3h	【収穫2回目】 収穫			
2才 ほだ木管理 古ほだ整理 原基作り散水 発生操作	移動・整理 禁 止 期 間	天 地 今年の ポイント	 刺激禁止期間			【発生操作】	ポイントとなる温度(最低気温) 各品種7～8℃を確認						
	原基作り 散水	今年の場合、 ほだ木内水分過多により 9月下旬まで天地返し、 又は古ホダ整理をする	自然降雨に任せて原基作り 10h			注1 原基作りポイント～原基作り散水は、 降雨が少ないようであれば補足的に 1～2回程度行う。	【即散水】 24h	【成長散水】 3h 3h 3h	【収穫】 収穫	※2才ほだ木の 冬期間の収穫は難しい。 春の発生が主体となる。			
115号 N115号 193号 118号 低中温 低温	1才 ほだ木管理 ほだ降ろし 発生操作	ほだ降ろし 禁 止 期 間	 移動・刺激禁止期間			【ほだ降ろし】	ポイントとなる温度(最低気温) 115・N115・193・118～5℃を確認						
	新ほだ木について、原基作りの散水はありません。 1年降しをした場合は古ほだ木に準じて原基作り散水を行って下さい。					【即散水】 24h	【収穫】 収穫	【収穫後散水】 8h 8h 8h	※以降は冬季 管理17ページを 参考にして下さい				
2才 ほだ木管理 古ほだ整理 原基作り散水 発生操作	移動・整理 禁 止 期 間	天 地 今年の ポイント	 刺激禁止期間			【発生操作】	ポイントとなる温度(最低気温) 各品種0～5℃を確認						
	原基作り 散水	今年の場合、 ほだ木内水分過多により 9月下旬まで天地返し、 又は古ホダ整理をする	原基作り散水 1回目 24h 2回目 24h 3回目 24h			注1、注2 発生操作は3つの中からいずれかを選択 する。操作後その日の内に散水する。	注2	【即散水】 24h	【成長散水】 3h 3h 3h	【収穫】 収穫			

マークの解説



天地返しを意味します。
ほだ木上下を入替える作業



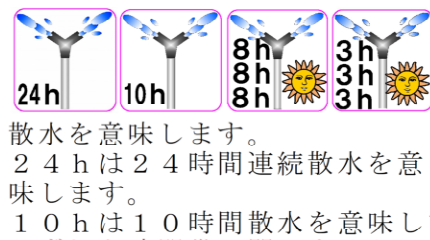
ヒモカッターによる刺激操作を意味します。表皮の剥げない程度に刺激を与えます。



ほだ起こしを意味します。
ほだ起こしをして下さい。



ほだ叩きによる刺激を意味します。
ほだ木表面を4～5カ所打撲します。



散水を意味します。
24hは24時間連続散水を意味します。
10hは10時間散水を意味します。
いずれも時間帯は問いません。
8hは日中に3日程度の散水を意味します。
3hは日中に間欠的に散水を意味します。



刺激禁止
移動・天地返しなどの刺激禁止



収穫